

会議結果のお知らせ

令和5年度第2回宮古市文化財保護審議会を、次のとおり開催しました。

令和6年2月1日

宮古市文化財保護審議会

1 開催日時

令和6年1月18日（木）午後2時～午後3時45分

2 開催場所

宮古市崎山公民館多目的ホール

3 議題

報告第1号 前回会議からの経過報告について

報告第2号 令和5年度宮古市文化財保護事業報告について

報告第3号 「宮古市文化財保存活用地域計画」（案）について

その他

4 会議の概要

事務局より説明を行い、審議のうえ了承された。

詳細は、別紙会議録のとおり。

5 問い合わせ先

宮古市教育委員会事務局文化課

電話番号0193-65-7526

令和5年度 第2回宮古市文化財保護審議会 会議録

- 1 会議の名称 令和5年度 第2回宮古市文化財保護審議会
- 2 開催日時 令和6年1月18日(木) 午後2時～午後3時45分
- 3 開催場所 宮古市崎山公民館 多目的ホール
- 4 出席委員 佐々木信一(会長)・武内 寛(副会長)・池田理恵・尾形洋一
小野寺康仁・高畑裕莉香・豊坂一寿・中嶋勝司・柳澤忠昭
欠席委員 神楽栄子
(事務局) 伊藤晃二教育長・北舘克彦文化課長・假屋雄一郎市史編さん室長・安原誠
埋蔵文化財センター所長・江口邦泰主任文化財調査員・上條瑞貴文化財調
査員・鎌田祐二北上山地民俗資料館長・長谷川真学芸係長・千葉剛史主任
学芸員・菊池駿貴学芸員・澤田尚美学芸専門員・大久保智広学芸専門員・
田代奈緒美事務補助員

計22名

審 議 経 過

- (1) 開会
- (2) 委員紹介
- (3) 教育長あいさつ

皆様、お忙しい所お集まりいただきましてありがとうございます。昨年10月5日以降の会議となります。お手元の資料に従いまして進行いたしますけれども、事前にお配りした文化財保存活用地域計画は膨大な資料となります。200ページを超す超大作となります。内容等については取りまとめを9割9分完了する形で進めておりまして、文化庁とも連絡を取りながらやっておりました。今年3月にこれをもって提出したいと思っておりました。すでにご存じの通り、花巻市が文化庁からの文化財保存活用地域計画については承認いただきましたので、宮古市としてはできるだけ次の承認をいただくように、7月に承認決定が出ると思っておりますので、3月にはまとめたいと思っております。今日はこの内容を中心に皆様からご意見をいただきたいと思っております。なお、10月5日以降、おかげさまで予定された内容等については、お手元の資料のとおり様々な活動をしてきました。

他の分野ですけれども、11月には日本陸連から公認になったサーモンハーフマラソンの公認コースで大会が行われまして、青山学院大学や中央大学が集まりまして、年を明けて1月2日、3日の箱根駅伝では、青山学院大学が総合優勝ということで、大変良いスタートを切れたと思っております。

なお、1月になって3学期が始まり、子供たちもインフルエンザ、コロナがまだまだ出ておりますので、お互いに気を付けたいということでやっています。すでに中学校3年生の高校入試、私立は始まっておりますので、3年生にとっては感染症にならないような対策を進めております。

この後、来年度から始まります中学校部活動の土曜日、日曜日の地域移行ということで、会議が急遽入ったものですから、中座させていただきます。

本日は委員の皆様から、来年度に向けて文化財保存活用地域計画についての内容について、ぜひ忌憚のないご意見をいただきたいと思っておりますので、どうぞよろしく願いいたします。

- (4) 会長あいさつ

お忙しい中審議会にご出席いただきありがとうございます。新年始まって今日で18日目

ですが、元旦に北陸地方の能登半島の大地震。2日は飛行機事故、心が痛む出来事が続いておりました。1日でも早く復旧復興がなされて、平穏な日々が続く、そういうことを祈っているところでございます。

私事ですが、去年の11月に北陸、能登半島に行く機会がありました。ちょうど輪島の朝市、軍艦島、塩田村、千枚田、そういうところをぐるっと見る機会があったのですが、この地震によってそれらが全部だめになったのだらうと思っています。軍艦島、見附島は半分に崩れ落ちてしまったという映像を見ました。輪島朝市で会ったお店の人たちとか住んでいる方々、全てがすごい状態だらうと思うと毎日心が痛む、そういうところですが、皆様方もそういうお気持ちでいっぱいなのではないかと思います。東日本大震災を経験しているからこそ、そう思うと思いますが、やはり自然災害は本当に怖いということを改めて感じた次第です。

今日の文化財保護審議会は、今年度の事業についての報告、それから文化財保存活用地域計画についてなどの審議が予定されています。年2回という数少ない機会でございます。皆様方のご忌憚のないご意見をうかがって、今後の文化財行政に活かしていただければと思いますので、よろしく願いいたします。

(5) 報告

報告第1号 前回会議からの経過報告について（事務局説明）

《質疑応答》

特になし

報告第2号 令和5年度宮古市文化財保護事業報告について（事務局説明）

《質疑応答》

（会長）別添の資料No.2で、チョウセンアカシジミ産卵数調査についての速報値がありました。その辺りについて、委員から補足説明がございましたらお願いします。

（委員）産卵数は少し増えて、何とか危機を脱しつつあると思っております。今年は夏の天候が良かったです。それから猛暑日が早くきすぎて、気温が35度になると日中の産卵時間帯に支障があるようで、ほとんど産卵行動に移らないという場面がありまして、あれがなければもうちょっと増えたと思いますので、非常に残念です。当初の危機的な段階よりは徐々に抜け出しつつあるという感じで、安堵しております。あとはまた、チョウセンアカシジミに対して気を配っていただけるような体制にしていきたいと思っております。

（会長）細越、佐羽根の2地点については、この4年間産卵数が0ということですが、トネリコの本数は他の場所に比べて少ない地区なんでしょうか。

（委員）細越はトネリコの数も少ないです。佐羽根はいっぱいあるのですが、ありすぎて調べるのが大変ということもあります。同じ場所ばかりで繁殖するのではなくて、今年ここが良かったとなると、次の年はポンと別の場所が繁殖地になるなど、なかなか掴めない部分もあります。

（会長）今年度は、過去2年に比べて増えてきたということで、いくらか持ち直してきているというお話でした。山口小学校3年生の子供たちの関心を高めるところにはすごく役立っていると思います。

（会長）毎回思うのですが、資料館もミュージアムの方々も本当にいろんな分野での企画、すごく良いなと思って見ていましたし、参加人数をみても増えているようですし、いろいろ取り組みなさっていて、本当に頭が下がる思いです。これらの取り組みをする上で、困ったというようなことはございませんか。

（事務局）困ったこととか、大変なことは、いろいろな企画を作っていくというのがす

ごく大変なところはあります。やはり同じ内容はできないと思っていますので、1回やったこととは違うもの、もしくはちょっと改良したものという形で実施していく。

あとはどんな人来てもらいたいかということで、内容を子供向けか大人向けか一応想定はするのですが、その通りのお客さんが申し込みをするかという、そうでもない。異なる客層の人が来たりするので、そういうところのニーズはまだ掴みきれていないところがあると思います。

あとは日程についても、いつにするかというのはすごく悩むところですが、家族連れに来てほしいというので3連休に実施することを考えたりしますが、やはりその通りにはいかなかったりするので、そういうところが大変なところというか、悩みながらやっているところです。

(委員) P7の一番下に「カラムシ編」とあり、カラムシの刈り取り体験とありますが、この施設内に植栽してあるのでしょうか。カラムシが畑みたいな状態であるのか、あるいは自生なのか、その辺りを教えてもらいたいです。

(事務局) 史跡公園の南側の方に、初代館長が持ってきたのを植えて、それが今生えているという状態です。

(委員) 広さはどれくらいあるのでしょうか。

(事務局) 20㎡くらいはあると思います。

(会長) P10の教育普及、ボランティアの育成のところ、復元竪穴住居燻蒸作業とあるのですが、燻蒸ではないのですが、よくこういう遺跡に行くと復元住居があると、入ってみたいくなります。ここの場合は安全上、防火上の関係で閉鎖しているということを経験したけれども、中を見てみたいという方はどうでしょう。一つの提案ですが、期間を区切って、例えば縄文まつりの時、10時から15時まで3日間とか、連休のときに何日間見せますという、お祭り関係と抱き合わせでもいいですし、年数回入る期間というのがあればいいと個人的には思うのですが。中に入って見てもらうというのはやはり難しいのでしょうか。

(事務局) 一度聞いたときには、不特定多数の人が入ること自体がもうダメですよということでした。維持管理のために職員が入るのは構わないけれども、それ以外についてはできないということでした。期間を区切ってできるのかどうかということについては、聞いてみて検討してみたいと思います。

(委員) 前回の会議で見にくいので線を入れてくださいと言って、やってもらって見やすくなりました。ありがとうございます。

(会長) 12月にあるきっかけがあって小国分館にお邪魔して、ご案内していただいた時があったのですが、確かにすごく民俗資料がいっぱいあって、今後もこれもお願いしますというように言われたらいっぱいになって大変だということを感じました。館長からは全部受け入れているわけではない、取捨選択しているという話を聞いて、確かに民俗資料が集まれば集まったで、大変だということを感じました。さすがだなと思ったのは、1個1個について番号を振り、一覧表にまとめ管理しているというので、少ない人数で大変だと感じました。その節はありがとうございました。

(委員) P16の小国分館の第4回水車の畑まつりについて、悪天候でちょっと残念だったわけですが、その中で郷土食体験コーナーというのがあるのですが、小豆キビ団子のお振舞があって、私も食べました。子どもの頃食べたときはおいしくないものだと思っていたけれども、今回いただいたのはすごく美味しかったので、こういう体験はいいなと思いました。来年以降もこういう郷土食の体験を楽しみにしておりますので、よろしく願いいたします。

(事務局) ありがとうございます。

(委員) 北上山地民俗資料館のミニ企画展の中で、「地域のあかり～閉伊川の水力発電～」

というのがありまして見てきたのですが、電気が通る前の、例えばどんなもので暖を取っていたのか、実物があってすごく良かったと思ったのですが、その中のアンカが、実物があるだけだと実際にどういうふうに使われていたのかとか、実際にどれくらい暖かいのかというのがなかなか見て分からないところがありました。使っている様子ジオラマとか写真とか、もし可能であれば来た皆さんに実際に体験してもらうなどがあれば、より良さそうな感じが個人的にしております。

(事務局) ありがとうございます。確かに写真と図面だけでは分かりにくいにはその通りだと思います。本当はジオラマとか立体的なものを作りたいと思ったのですが、やはりミニ企画展年4回やっている中で、なおかつ普段いろいろな講座などがありまして、資料館の職員は5人しかいない中で、なかなかジオラマ作るのはすごく時間もかかるので、そこまで手が回らないというのが実態となっています。今の意見も踏まえながらどこまでやれるのかを検討しながら、来年度以降のミニ企画展に役立てていきたいと思っています。

(会長) P16で小国では7月に神楽共演会を行って、200人以上の方がおいでになったということですが、津軽石地区でも確かなさいましたよね。その辺りで何かありましたらお願いします。

(委員) 今年は仙台の方からお客さんが10名ほど見たいと、観光会社でツアーを組んだのではないのでしょうか。これからはそういう人も来るのではないかと考えております。コロナで3回ほど休んでいるので、6回しかやっていません。今回は、「川井御戸入」を招待しました。他の地域の勉強をすればやはり活性化します。確かに子供が減っているので、維持して続けるというのが大変難しくなっていますけれども、子供たちはやりたいという気持ちが出てきて、やはり続けていければいいのではないかと考えておりました。上は85歳くらいから中学生まで、おかげさまで世代間の交流もできています。さんさ踊りは小学生からしますし、中学生になれば文化祭でやる。ただ高校生になるとやらなくなるので、発表する場が郷土芸能祭の1回しかないわけです。旧津軽石村は6団体で今やっていました。虎舞の1団体は復活できそうがない。続けないといけないと思って、市の予算もいただいてやっているのですが、大変です。

(会長) 仙台の方からいらっしゃるということで、三陸道路もできたので、そういうのがますます活発になればいいですね。

(委員) 三陸鉄道の利用と三陸道の利用、それに観光がくっつけばいいと思います。本来であれば、参加型だと良いのですが、ただ時間がないです。だいたい4時間くらいで終わりなので、そこに30分以上費やすのは難しい。確かに踊りたい、触りたいというお客さんは増えてくるのではないのでしょうか。少し変わっていかないといけないのではないかと考えました。

(会長) P4のところ、宮古小学校の150周年記念というのがあって、以前宮古小学校にあった物品等をお借りして、展示を企画なさったそうですが、何かございませんか。

(委員) たくさんのお物を展示させていただきましてありがとうございました。ちょうど展示会場も式全体の受付の裏に全部展示したので、本当にたくさんの方に見ていただけましたし、当時のラジオは電源が入って放送が流れました。前日に子供たちと一緒に設営しているときに子供たちが「これ昔の放送ですか」と言っていました。そういう考え方もあると思いました。「昔の声じゃないよ」と言ったのですが、結構興味深々で見えていましたし、机、イス、火鉢、本を入れて運んでいた大きな箱とか、本当にいろいろなものを貸させていただきましてありがとうございました。大変感謝しております。

(委員) 昨年度、旧新里村腹帯の洞窟調査をさせていただきまして、今年度は北上山地民俗資料館と熊穴を調査させていただきました。一緒に調査に行ったのが岩手県立博物館のクモの専門家の方でして、そしたら腹帯の調査で見つかったホラヒメグモというのがあります。

が、ホラヒメグモの種類と熊穴のクモの種類は若干違うということが分かってきました。熊穴の方は南の釜石とか大船渡の方の種類と共通するようだ、という結果が出ているようです。さらに詳しい調査が必要になるのですが、分布の違いがあるということが明らかになってきております。今のところ確認された洞窟は宮古市では2箇所になったわけですが、さらに情報がありましたら、お願いします。

(委員) 感想ですが、チョウセンアカシジミの卵の数を数えていらっしゃるということで、なかなか卵が増えても、そこから成虫になるのはごくわずかだと思うので、3月10日の産卵数調査に参加したいと思っています。よろしくお願いします。

(会長) チョウセンアカシジミの産卵地観察会について、参加できる方はお願いします。

(委員) P9の第24回崎山貝塚縄文まつりの件ですが、確か例年300人から400人ぐらいたったのが757人と増えたとありましたが、実行委員会とか職員の努力だったと思うのですが、それ以外に増えたという要因が何かあれば教えていただければと思います。

(事務局) 実際のところはよく分かりません。昨年度は入り口を設置してリストバンドを付けてということをやりましたが、昨年5月にコロナが5類に移行して、制限が一切なくなったということも一つあると思います。人の動きが活発になって、縄文まつりにも来ていただけたと考えております。

(会長) 来場者の方も満足して帰られたと思います。これを基に次年度も計画等お願いできればと思います。

報告第3号 「宮古市文化財保存活用地域計画」(案)について(事務局説明)

《質疑応答》

(委員) P64の写真ですが、早池峰山及び薬師岳とあるが、この写真を見ると薬師岳が見えない。P104の写真には薬師岳も入っています。チェンジすればいいと思いました。

(事務局) 写真を入れ替えてキャプションを合わせます。

(会長) P124の津軽石・重茂区域の文化財一覧の表で、6番目の追分碑(右長沢・左山田)とあるのですが、この場所はP126の地図で、追分碑(右長沢・左山田)とあるのですが、この石碑は35、6年前から所在不明なのです。「宮古の石碑」という本には載っているのですが、道路工事があって、その時に持ち去られたのか分かりませんが、なくなって、その傍にあった念佛塔が10mくらい脇に捨てられたようにありました。2、3年前にお話ししたら、文化課で早速行って、ないというのはご存じの通りです。それが過去にはあったというので載せてもいいだろうし、現状ならば取るなどをご検討いただければと思います。あとP124の区域の概要というところで、区域の範囲という欄があって、上から2行目に「津軽石地区は、法の脇、元町」と書いてあるのですが、「本町」と思うのでご確認願います。

(委員) P137の15番のオオジシギ繁殖地、この類型は動物になります。その上のチョウも同じです。

(委員) その下にある不拔の「抜」は伐採の「伐」です。

(委員) P66の早池峰山登山道5合目の鳥居の写真があります。これも5合目にこういう鳥居があると思われてしまうと間違いになるので、何かを入れた方がいいかもしれません。

(事務局) 登山道でなく、門馬コースとか。

(委員) 門馬口ですかね。多くの方は早池峰山の小田越えから登ることが多いので、こんな鳥居はないよとならないように。

(会長) 全部を見るのは大変でしょうから、自分と関連する地域のところだけでも見ていただいて、何かこれこうなんじゃないかというのがありましたら、文化課の方にご連絡いただければと思います。文化財保護審議会の文化財保存活用地域計画についての審議は今日で終

わりです。詳しくは文化財保存活用地域計画策定協議会の方でも煮詰めることもあると思いますが、当審議会ではこれで最後です。

審議会として宮古市文化財保存活用地域計画について、よしということによろしいでしょうか。(異議なし)

では、審議会としては、宮古市文化財保存活用地域計画についてご了解を得たということで確認いたします。ありがとうございます。

<以上、全会一致で了承。>

(7) その他

(委員) P T Aの方から来ているのですが、文化財保護審議会ともう一つ、立地活性化委員会というのをやっております。立地活性化の方に出ていて思ったのは、この会議の中で、皆さんで話し合われている文化財の保護、それを宮古市全体とかそういう観点から見たまちづくりというのがちょっと薄いと思います。向こうの計画を見ていて思いました。ぜひ、この文化財保存活用地域計画を基に、いろいろまちづくりを都市計画課などと一緒に話し合ってもらって、良い町にしていきたいと思いますので、よろしく願いいたします。

(事務局) ありがとうございます。この計画は、各地域の文化財を巡るマップ作りみたいなものも進めながら、地域を盛り上げていくという計画ですので、いただいた意見を基に進めさせていただきます。

(8) 閉会